

どう関わる？思春期の子ども

(わが子にケータイ・スマホがほしいと言われたら)

家庭教育講座 (吉田方地区市民館)

明照保育園 園長 中島 章裕

～スマホ問題は、思春期の親子関係の問題～

「保育業界で言われている子育てのあり方」

○ 『抱きしめる！』 (小さな時・・・)

- ・スキンシップが大切！ (無条件に愛されているという実感)
- ・センシティブィティ (感受性・感応度) が高い親の赤ちゃんは、認知能力や言語能力が高い！
→赤ちゃんの反応に的確に反応することで赤ちゃんは育っていく
(録画のお母さんに反応しない赤ちゃん)

○ 『聴く！』 (おしゃべりが出来るようになったら・・・)

- ・ブロック！ブロック！！ブロック！！
- ・社会的参照 (ソーシャル・レファレンシング)
→生後6ヶ月頃～2歳頃：後ろを振り返った時に自分を大切に思っている人が見守ってくれているという安心感。どうすればいいかを教えてくれる視線や表情。
→社会的ルールの遵守、非行や犯罪を予防する基盤

* 第1次反抗期 (2歳～：イヤイヤ期) イヤ、ダメ、自分で！

- ・共感、(気分転換)、代弁、整理、提案 (2歳児の先生たち)

いよいよ心身共に大人になる準備が始まる時期 (早い子は10歳くらいから：イライラ期)

○ 『見守る！』

○ 『』 (独り立ちする時期：子どもだけの時間や居場所が増えていく)

最後は『前向きに・・・』

【スマホ・ケータイがほしいと言われたら・・・】

○ 『思春期って？』

うざい！汚い！ジャマ！重い！嘘ばかり！触らないで！関わらないで！死ね！
お母さんから離れたい！こんな家に生まれてくるんじゃない！ばばあ！くそじじい！

この時期の子どもは、甘えたとせば、突き放してくる、自立と依存を繰り返しながら成長する。